

自分の子供も同じようにここでのびのびと育てたい。
未来の私の家族もきっと桑折町に住んでいます。

岡崎奈美さん(醸芳中学3年生)

移転新築になった醸芳中学校の第1期生。勉強はもちろん、生徒会活動や部活動にも積極的に参加し、有意義な学校生活を送っています。



ほかの所と比べて桑折町がどうなのかということはいくぶん分らないけど、でも確実なのは、私はこの町が好きなんだなあっていうこと。どこを歩いていても緑があふれているし、近所のおじさんやおばさんも親切。本当にこの町に生まれてよかったと思います。県南から転校してきた友達に「桑折って住みやすくていい所だよ」と言ってくれたことがあって、それは心からうれしかったですね。今特に幸せだと思うのが新しい校舎で学校生活を送れること。伊達地方の中でも立派だという評判を聞いて誇りに思います。近い将来の夢は、姉妹都市提携を結んでいるエリザベスタウンを訪ねて、同じくらいの年齢の人達の生活を実際に見ること。そのためには英語をもう少し頑張らなくちゃ(笑)。また、いずれはこの町で結婚して子供を育てたい。将来就きたい仕事ができる会社がこの町にはないの。就職はよその町になるかも。でも家族と暮らすのは桑折町だって思い描いているんです。

生まれも育ちも桑折町。高校だけは福島市まで通いましたけど、やっぱり地元はいいですよ。何といても自然の宝庫！最近半田山の環境整備も活発に行われているようだし、町を囲んでいる景観が美しいといことは気持ちの中に安らぎを感じます。ただこれでもっと商店街などの活性化を図ることができれば…。例えば、町に大きなショッピングセンターが誘致される、なんてことは期待できないのかな？土地の有効活用で国道沿いももっと開拓されればあるいは考えられるかもしれないよね。僕はいずれ桑折町で結婚して、ここで子供を育てていきたいと思っっているんです。そのためにもこの町が子供にとって暮らしやすく、いい環境であってほしい。どこまでも素朴で優しい自然を守ることはもちろん、図書館など教育のための施設を充実してもらえたら言うことなしです。子供の教育がひいては桑折町の将来をつくっていく礎となるのだから…。

これからの桑折町を担う子供達の教育のために施設や環境の充実について考えています。

佐藤典昭さん(会社員)

福島市の高校を卒業後、地元・桑折町の企業に就職。入社から今年7年目で、同僚たちからの信頼も厚いベテランの一人です。

